



FDワークショップ

「TurningPointを利用した能動型授業のススメ」

高等教育推進センターでは、TurningPoint(クリッカー)の貸出を行なっていることから、利用方法や活用事例を中心としたワークショップを開講することになりました。今回は、講師からの説明を中心に行ないますが、PCを持ち込みいただきますとハンズオンでの講習も行なうことができます。ぜひご活用ください！！

日時：2013年12月5日(木) 15:10-16:40

会場：西宮上ヶ原キャンパス 本部棟会議室4

対象者：本学に勤務する教職員・非常勤講師

参加費：無料

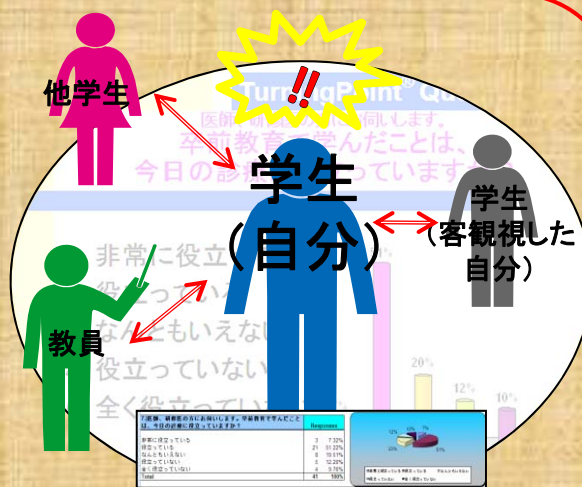
締切日：12月3日(火)

申込方法：高等教育推進センター宛 (HighEdu@kwansei.ac.jp) に「氏名」・「所属部署」・「PCの持込有無」をお書きの上、送信下さい。

※PCをお持ち込みいただければ、ハンズオンでの講習が可能です。

TurningPoint能動型授業とその効果

- ①質問&解説でテンポよく
⇒学生は、集中力&考える力がアップし、長期記憶へ繋がります。
- ②みんなで話し合い、考えを共有
(⇒学生は、コミュニケーション力がアップし、考えは更に深まります。)
- ③リアルタイム集計表示
⇒学生は、教員から適格なフィードバックがリアルタイムに受け取れ、且つ自分を客観視することができます。
⇒教員は、学生の理解度をリアルタイムに確認できます。
- ④簡単レポート作成
⇒教員は、手軽にレポート作成&データ蓄積ができるので、レポートを次の授業に生かします。



★レポートでデータ分析★

「動画だからわかる物理」、北海道大学高等教育開発研究部山田先生発表、金沢大学クリッカー研究会発表より抜粋

東京学芸大学教育学部の使用例

基礎自然科学講座教授新田英雄先生より

ピア・インストラクションを取り入れる。

【はじめに問題を出し、その回答結果について学生同士で議論をさせ(協同学習効果)、

再び同じ問題を出題,正解を示して解説】

- + 能動的な思考そのものが身に付く
- + オンデマンドな授業
- + 詳細なデータが簡単に取得できる!
- + 正解率の変化に本当の理解度が見えてくる!

慶應義塾大学医学部での使用例

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」より

“新しいITC導入による授業効果の向上”への取組

質問内容: **確認テスト的なもの、理解度、予習の有無**等

慶應義塾大学医学部漢方医学センター長 渡辺賢治先生より

+ 集中力が上がり、生徒が積極的に参加できる!

+ 授業に活気が出る!

慶應義塾大学医学部運動器機能再建再生学講座奥山訓子先生より

+ 学生の声「おもしろい!!」

+ 一体感が出る! + 使用が簡単!

主催：教務機構 高等教育推進センター

講師：キーパッド・ジャパン株式会社

TurningPoint オーディエンスレスポンスシステムとは？

オーディエンス・レスポンス・システムは、
 プレゼンター（講師、先生）と参加者（聴衆者、学生）との双方向のコミュニケーション・授業を支援するツールです。
 ※一般的には、クリッカーやアンサーパッドなどと呼ばれています。



東京学芸大学附属高等学校 2年生物理(兼田先生)
 集計したデータを瞬時にグラフ化することで、リアルタイムのフィードバックができ、効果的かつ活気のある講演・授業の展開が可能となります。

高等教育推進センター
 では最大300枚の貸出が
 可能です！！

①問題表示・回答

あなたの心と太陽、どちらがより輝いていますか？

1. 自分の心
2. 太陽
3. 50TAの魂

今すぐ回答

TurningPointに必要なものは3点のみ！

- ResponseCard（参加者に1台ずつ配布）
- レシーバ（講演者・先生のPCに挿入）
- TurningPointソフトウェア（PCにインストールしておく）



②リアルタイム集計！

あなたの心と太陽、どちらがより輝いていますか？

1. 自分の心
2. 太陽
3. 50TAの魂

③Excel形式で、レポートを簡単に作成

集計したデータからレポートを作成します。
 30種類のレポート作成が可能です。

その場で参加者の意見を集計し表示します。

**Macユーザーは、
A「TurningPointAnyWhere」
 をご利用頂けます。

